

企画展 「囲碁のまち・ひらつか」のあゆみ

会期：2016年10月1日(土)～10月30日(日)

会場：博物館1階寄贈品コーナー

平塚市は囲碁を平塚の特色ある文化として位置づけ、全国から注目される「囲碁のまち ひらつか」をめざしてきました。「湘南ひらつか囲碁まつり」などを主催する一方、各種入門教室や講座を通して囲碁の普及発展にも努めてきました。

その結果、平塚市の小中学生、高校生の児童生徒たちは、個人戦や団体戦でほぼ毎年のように神奈川県大会などを勝ち抜き、全国大会で活躍するほどになりました。また、女流棋聖戦をはじめ、囲碁界の三大棋戦である「棋聖戦」「名人戦」「本因坊戦」などプロの棋戦を誘致し、平塚市で数々の名局が生まれています。

本企画展では第21回に踏み出す「湘南ひらつか囲碁まつり」を記念して、これまでの平塚の生徒たちの活躍や平塚での名勝負、棋士たちのメッセージを紹介します。



パールロードで開催された
囲碁多面打大会(1996年)
博物館の特別展「十九路に
道を求めた棋士 木谷實」
の関連イベントとして開催さ
れ、「湘南ひらつか囲碁まつ
り」へ発展した。

【関連行事】 囲碁のまち・ひらつか講演会

「囲碁観戦記者が見た 棋士のちょっといい話」

内容：棋士の意外な素顔など、囲碁観戦記者とおきの話を紹介します。

講師：内藤由起子氏(囲碁観戦記者・ライター)

日時：10月22日(土) 13時30分～15時

会場：博物館講堂

定員：50名(先着順)

共催：平塚市博物館 平塚市文化・交流課

後援：公益財団法人日本棋院

協賛：公益財団法人平塚市まちづくり財団

監修：内藤由起子(囲碁観戦記者・ライター)